

令和4年 第4回長泥地区除染検証委員会議事録

1. 日 時 令和4年5月25日（水） 13:10～14:20

2. 場 所 飯舘村役場 2階 第一会議室

3. 出席者

委 員：塚田委員長（福島大学）秋光副委員長（東京大学）（オンライン出席）、林
委員（国立環境研究所）、万福委員（農業・食品産業技術総合研究機構）
オブザーバー：（環境省福島地方環境事務所）百瀬課長、須賀課長
飯舘村：三瓶（産業振興課長）、佐藤（村づくり推進課長）、齋藤（企画定住係長）、
高倉（農政第二係長）、今井（農政第二係）

4. 配布資料

資料1 令和4年 第3回長泥地区除染検証委員会議事録（案）

資料2 長泥地区除染検証委員会における検証結果について（中間報告）（案）

参考資料1 飯舘村特定復興再生拠点区域における除染状況 令和4年5月13日

参考資料2 飯舘村特定復興再生拠点区域における除染状況 令和4年3月25日

参考資料3 食品モニタリング結果表（抜粋）

5. 議事

【事務局より、資料1の説明】

（塚田委員長）修正がある場合は本日の委員会が終わるまでに申し出ていただき、委員会が終わる次第“（案）”を取ることにする。

【事務局より、資料2の説明】

（塚田委員長）スポットではなく被ばく線量として考えた場合に5ミリシーベルトを基準として判断するという旨をわかりやすく標記した方がよいと考えるが、委員の方の意見を伺いたい。

（秋光副委員長）スポットではなく被ばく線量として捉えるということはその通りだと思うが、文章は修正しなくてもその旨は読み取れると思っている。

（林委員）私もそこまで具体的に書かなくてもよいと思う。それよりも住民説明会の際に村がきちんと内容を説明できるかが重要だと考える。

（万福委員）本委員会は外部被ばくについての評価、除染についての評価をする立ち位置なのでこの書き方が適切と考える。

（塚田委員長）各委員からの意見を集約し、文章はこのままとする。

（百瀬課長）特定復興再生区域のところに“拠点”が抜けている。

“放射線量”と“空間線量”と“放射線量率”と“空間線量率”をそれぞれ使い分けている意図について教えてほしい。

（事務局）それぞれふさわしい標記としたので特別な意図がある訳ではない。もし、何かあれば意見をいただきたい。

（塚田委員長）前回の秋光副委員長からの指摘が修正されていない箇所があった

ので、改めて“空間線量”、“空間線量率”に統一すること。

(事務局) 特定復興再生区域のところに“拠点”を追加する。

“放射線量”は“空間線量”に、“放射線量率”は“空間線量率”に修正する。

“被ばく線量”と“放射能”はそのままとする。

【環境省より、参考資料1・2の説明】

・意見等なし

【事務局より、参考資料3の説明】

(塚田委員長) 採取日と検査日を入れること。

出荷制限等の品目がわかる資料を村として準備しておいた方がよい。

(塚田委員長) この資料はどこからの抜粋か。

(事務局) 村のホームページで公開している資料の抜粋となっている。

(須賀課長) 村外の方に拠点外であることがわかるように標記した方がよいと思うが。

(事務局) いろいろと意見を頂戴したので、今後検討して参りたいと思います。

(塚田委員長) 最後に再度お諮りします、令和4年 第3回長泥地区除染検証委員会議事録(案)と長泥地区除染検証委員会における検証結果について(中間報告)(案)の“(案)”を削除してよろしいか。

(一同) 異議なし。

今回の会議は今後の区域内の事業の進捗をみて設定することとした。